



世界に希望を生み出そう

脇町ロータリークラブ

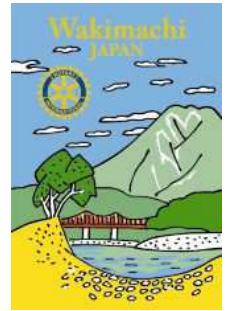
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2024年2月22日 木曜日

第28回例会 No. 2867

会員総数:39名 出席者26名 出席率:66.66%



●メーキャップ

●会長挨拶

川原会長 会長になりまして約八ヶ月経ちました。近々、インターシティミーティング(以下 IM)と地区大会という大きな行事が控えています。それにつきまして調べてみましたので、地区大会とIMは、どこが違うのかを今回のテーマにしたいと思います。

まず、IMが今年の3月30日にホテルクレメントで「誰一人として傍聴者にならないSDGs:消費と地域づくりの視点から」というテーマで開催されます。地区大会は、5月17日に地区大会記念ゴルフ大会とRI会長代理国際歓迎晩餐会、5月18日にアスティ徳島で本大会が行われます。

IMは、以前はIGFや、ICGFと呼ばれていた地区行事でした。1969年のロータリー国際理事会の決議により、RIの正式行事から除外され、その開催は地区ガバナーの裁量に委ねられるようになっております。その後、IMという名称で変更されて現在に至ります。IMは近隣のクラブが共通のテーマについて話し合い、知識を共有し親睦を深めるための場として重要であり、ほとんどがフォーラムと親睦会を組み合わせた形式で行なわれています。多くの場合、IMは分区ガバナー補佐が主催し、ロータリーに関連するテーマや色々な内容で交流会が開催されて、決議や決定を行うことはありません。それに対して地区大会というのは、地区内すべてのロータリアンが、地区の奉仕プログラムやプロジェクトを紹介したり、ロータリアンの奉仕活動への更なる参加意識を高めたり、ロータリーのビジョンを分かち合い、ロータリー指導者との交流の機会を提供する、と言うことが目的とされています。

結局のところ、地区大会とIMはどこが違うのかですけれども、目的と意義に関しては、地区大会はロータリークラブ地区レベルでの最大のイベントで、地区内の全クラブが参加を促されます。これには数百から数千のロータリアンが参加することになり、地区全体の活動と成果を祝うことに重点が置かれていると考えます。クラブ会員が、ロータリーの最新情報や、地区内の活動情報共有について学び、他のクラブと交流することを目的としています。それに対してIMは比較的小規模のイベントで、特定のテーマやプロジェクトに焦点が当て、クラブ間の協力を促進することを目的としています。参加者数は地区大会よりも少なく、より特定の目的に集中しているといえます。主催者は、地区大会ガバナーが主催者であり、地区大会委員会がイベントの企画運営に深く関わっています。

まとめると、地区大会は、大規模な集会であり地区全体のロータリアンが参加し、教育セッション、ビジネスセッション、および社交活動を通じて、ロータリーの理念と目標を祝う大会という事といえ、IMは、特定の目的やプロジェクトに焦点を当て、協力と交流を促す小規模なイベントとなります。

私の会長任期も残り4ヶ月となります。引き続き、頑張っていきたいと思っておりますので、皆様、ご協力をよろしくお願い致します。

●幹事報告

佐藤直樹幹事

到着週報 鴨島 阿波池田 美馬 洲本各RC

到着書類

連絡事項 会長挨拶にもあったように、5年ぶりにIMが開催されます。ご参加可能な方は、お願いします。

●委員会報告

●プログラム

前振り
佐藤俊彦会員

皆さんこんにちは。徳島銀行の佐藤でございます。
最近、ダイエットに成功しました。毎日飲んでいた、大好きなカフェラテを絶ち、食事制限も効果があり、約2か月で 20kg痩せることができました。おかげさまで、量販店でも、普通サイズの服を購入することが出来る喜びを感じている、今日このごろです。
前回の卓話の際、淡路島の紹介をしましたが、大きくタイムオーバーしてしまいまして、ご迷惑おかけしました。自分の話に酔ってしまうところがありまして、反省しています。
今回は、残りの話せなかったことが沢山あったのですが、それよりも、皆様のお役に立てそうな話題をと思ひまして、企画させていただきました。弊行は、平成十年の創業 80 周年記念事業の一つとして、地域住民の生涯学習支援と地域社会の生きがいと健康づくり推進にすることを目的とし、公益財団法人とくぎん生涯学習振興財団を設立しました。県内各種団体の活動に対して助成を行うことや、著名人の講演会などを開催しております。そこで今回、脇町ロータリークラブの皆様へ財団の存在を知ってもらい、今後、有効的に活用して頂けたらと思ひました。それでは、ここからはバトン渡し、事務局の榎並より、当財団の紹介をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



卓話
とくぎん生涯学習振興財団
事務局 榎並氏

ただいまご紹介いただきました、公益財団法人とくぎん生涯学習振興財団の事務局を行っております榎並です。よろしくお願いいたします。
実は去年の3月まで、中学教員をやっておりました。美馬市の方にも、新任の頃に一宇中学校で三年間お世話になりました。美馬市に来ると、その頃の思い出がよみがえってきます。本日は、当財団の事業説明をさせて頂こうと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

お手元のパンフレットをご覧ください。大きくは二つの事業を行っております。
地域社会における生涯学習に関する事業、及び文化事業に対する支援、と言うことで様々な団体に助成を行っております。年間 10~15 件ほどの、申し込みがあり、団体にお金の方を助成しているところです。最大の目的は、自己の充実や生きがいのために、年間を通じて継続的に学習を行ない、自己を高める活動をしていることです。生涯学習ですので、自分の学習をしている団体かどうかというのが一番大事なところです。

学びたい人が、年齢を超えて誰でも参加できる団体であることから、学校の部活動は対象外です。また、団体の規約があり、会員名簿があり、事業報告、決算報告等ができていない団体であることが、条件となります。営業目的とする活動、あるいは公共性の強い活動でないことも条件の一つです。昨年、令和5年6月末現在の助成実績は、407 団体に対して 6700 万以上の助成を行いました。当財団は、徳島銀行の創業 80 周年を機に、記念事業の一環として設立致しました。その目的は、地

域社会における意識啓発および、生きがいと健康づくりの推進など地域の皆様の生涯学習活動および、文化事業の支援を行ない、温もりと活力のある地域社会の発展に寄与することになります。助成する金額につきましては、一団体に對し一人当たり5000円以内とし、かつ総額50万円以内としております。最大が50万円为原则として、毎年の申請は認めておりません。二年あけば再度、申請は可能です。お問い合わせは、直接私の方でも構いませんし、各支店の方に担当がおります。ご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。

次に、生きがいと健康づくりを推進する事業、並びに文化事業の主催および共済または協賛する事業についてご説明します。主催事業として、毎年一回、著名人をお呼びして講演会を行っております。来週の話なので恐縮なのですが、2月27日火曜日にホテルクレメントで講演会を行ないます。今回の講師先生は、順天堂大学の免疫学教授の奥村康氏です。免疫力の研究をされている先生ですので、コロナに負けない免疫力アップ法について話をしてくださるのではないかなと思っております。ご興味ある方は、是非お越し頂けたらと思います。共済事業ということで、徳島総合流通センターと共同開催で、日本で活躍する音楽家の方を3人ほどお招きして、毎年一回11月ごろに音楽祭を行っております。こちらのほうも、ご興味ある方は、今年の11月にお越しただけたらと思います。以上で私からの説明を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

●ニコニコボックス

●例会ダイジェスト

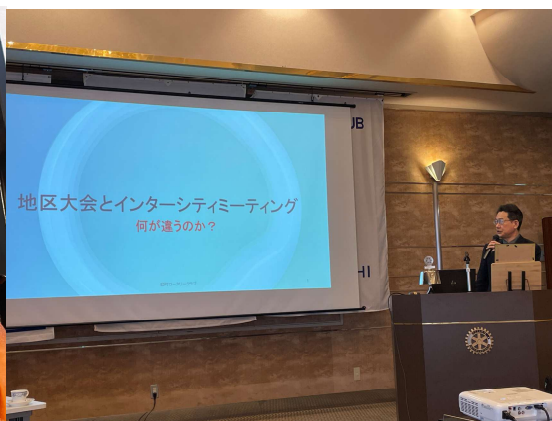
今週の見出し！

株価は最高値更新しましたが、血糖値の最高値は、くれぐれもご注意ください！

1. 本日のお弁当。



2. 調べてみました。



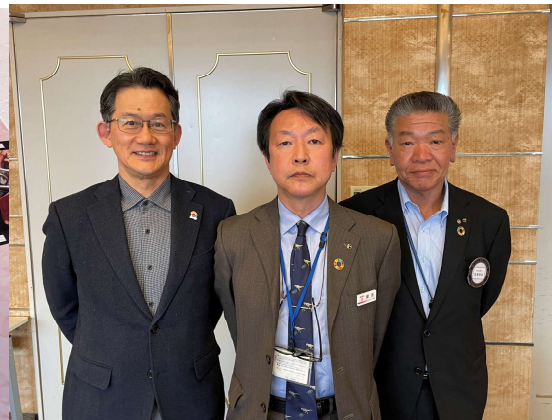
1. 品数盛りだくさんの和あさん弁当。

2. 大小あれど、理念と目標×交流と協力です。

3. 案内パンフレット。



4. 記念写真。



3. 見応えある財団設立25年間の活動記録。

4. 榎並様、貴重なお話しありがとうございました。

次回例会

2024年2月29日(木)12:30～

清月屋敷

プログラム

卓話 小笠会員のすべらない話

次の会員は例会欠席でした。 一井会員、岡本会員、小野会員、加島会員、上柿会員、北川会員、木下会員、郷司会員、白川会員、千葉会員、秦会員、藤川会員、吉野会員
メイクアップして下さい。

☆ 次回例会の出欠を黒川出席委員長まで連絡してください。